



出店者募集

東大池公園で開催する 「さやマルシェ」への 出店者を募集します

狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議

狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議は、10月30日(土)に狭山ニュータウンの公園に散りばめられたクイズに答えながらゴールをめざすイベント「狭山ニュータウン謎解きウォーキング」を開催します。

また、ゴール地点の東大池公園では、体験型イベントやワークショップ、キッチンカーなど魅力満載の催し「さやマルシェ」を同日開催します。

「さやマルシェ」への出店を希望する人は、市役所企画グループ、ニュータウン連絡所、市立公民館、市民活動支援センターで配布する募集チラシを確認し、16日(月)までに専用フォーム(<https://sgfm.jp/f/sayamarche>)で申し込んでください ※募集チラシは、市ホームページからもダウンロード可

問い合わせ 企画グループ ☎ 366-0011

申し込み専用フォーム ➡



近畿大学と包括連携協定を締結

ともに未来を志向した立場で連携を深めます

近畿大学医学部や近畿大学病院などを含む近畿大学の狭山キャンパスの移転が報道された平成26年1月から7年6か月が経過しました。

この間、市では、同病院などの移転対応を最重要課題の一つとして、市議会をはじめ大阪府や近畿大学と議論・協議を重ねるとともに、南河内地域の市町村や関係団体などとも連携した取り組みを進めてきました。

令和6年の春頃に同病院などの移転が予定される中、6月29日に、市は近畿大学と「移転後のまちづくりに関すること」を含む9項目におよぶ包括的な連携を合意し、協定を締結しました。

これにより、移転後の跡地に近畿大学が経営移譲により確保する「後継病院」や「跡地全体の活用」に関する協議を更に推進します。



近大病院の移転にかかる 近年の市の主な対応

- 平成30年1月 大阪府・市・近畿大学による三者協議を開始
 - 平成30年9月 三者協定書を締結(※1)
 - 令和2年4月 全庁的な取り組みとして「狭山ニュータウン地区活性化プロジェクトチーム」を組織し、近畿大学との勉強会を開始
 - 令和2年11月 大阪府が跡地での医療機能などを示す(※2)
 - 令和2年12月 大阪府が示した内容を受け「本市の考え方(方針)」を公表
 - 令和3年1月 市長が近畿大学理事長とWEB会議
 - 令和3年6月 近畿大学と包括連携協定を締結。近畿大学が狭山ニュータウン地区再生連絡協議会に参画。近大病院移転後のまちづくりは新たなステージへ
 - ※1 大阪府知事、大阪狭山市長、学校法人近畿大学理事長の3者により、市における近畿大学病院等移転後の地域医療機能の確保に関し基本的な事項を協定として締結しました
 - ※2 大阪府は「後継病院は回復期機能を有する病院を中心に」や「119床を超えて整備する場合は厚生労働省協議が必要」との具体的な認識を示しました。
- 市は、これを受け「本市の考え方(方針)」を市ホームページで公表しています

狭山ニュータウン地区再生推進計画を策定します

狭山ニュータウン地区再生連絡協議会

市は、地区の資源や魅力などを踏まえたまちの将来像を描き、その実現に向けた取り組みを示した「狭山ニュータウン地区活性化指針(平成31年3月)」の実施計画として「狭山ニュータウン地区再生推進計画」を策定するため、市民や学識経験者、事業者などで構成される「狭山ニュータウン地区再生連絡協議会」を組織し、6月22日に第1回協議会を開催しました。今年度末までにシンポジウムやパブリックコメントなどにより、皆さんの意見を踏まえて計画を策定します。議事概要や会議資料は、市ホームページで確認できます。

問い合わせ 企画グループ ☎ 366-0011